

KOBE YMCA NEWS



神戸青年 No.649
2017.3 Mar

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/井上 真二 編集人/田村 光
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.org 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

「平和な人には未来がある」
(詩篇37編37節)

神戸YMCA 新三宮会館 まもなくオープン<建築募金 経過報告>

歴史の上では第5番目となる「神戸YMCA三宮会館」が2月28日に竣工いたしました。現在は、4月より新たなスタートを切るべく、準備を進めているところです。

さて、ここまで多くの会員、ワイズ、各企業、教会、OBOG、職員の方々から継続的な募金をお捧げいただき、心から感謝申し上げます。1月4日の新年職員礼拝では評議員でもある塚本潤一牧師から『新しい祈りを新しい皮袋に』とメッセージをいただきました。131年目を迎える神戸YMCAが、新会館の竣工を喜びつつ、内面も新しくされ、その上で社会の変化や課題に寄り添いながら、多世代、多文化の交わりが広がるよう、すべての『いのち』が光り輝くよう歩みを続けて参ります。

建築募金は2017年12月末までとなっています。今後も更なるご支援、お力添えを何卒よろしくお願ひ申し上げます。



東側からの全景です。

<2017年1月末現在の募金総額>

	寄付者の内訳	金額の内訳
会 員	396名	23,927,980円
ワ イ ズ	52名	7,783,750円
教 会	59名	1,330,979円
企 業	45名	12,510,000円
職 員	104名	3,857,000円
そ の 他	87名	2,875,548円
計	743名	52,285,257円



2階チャペル内正面にはステンドグラスが設置されています。

この三宮会館は、地上11階建て、1~3階部分は神戸YMCA学院専門学校(ホテル学科・日本語学科)、ランゲージセンター、国際奉仕、地域サービス、チャペル、本部機能が、4~11階は、協働事業者「(株)生活科学運営」による高齢者の方の入居住宅(介護付有料老人ホームを含む)「ライフ&シニアハウス神戸北野」となります。

なお、5月8日(月)に「神戸YMCA創立131周年記念礼拝」

を、5月13日(土)に、三宮会館竣工記念「(仮称)オープンハウスDAY」を予定しています。詳細は次月号にてお知らせいたします。皆様のお越しをお待ちしております。

~YYフォーラムが開催されました~



2017年1月28日(土)に神戸栄光教会にて、「今しか聞けないブランディングのなぜ?~そしてみんなで歩き出そう~」をテーマにYYフォーラムが開催されました。ワイズメンズクラブ・ユース・職員が約90名集まり、昨年発表されたYMCAのブランドコンセプトの理解を深めるとともに、これからYMCAができること、期待することを語り合う時間を持ちました。

基調講演では、船戸輝久さん(大阪YMCA)・三浦友里江さん(広島YMCA)<※お二人とも日本YMCA同盟ブランディング広報戦略タスクチームを担当>に、ブランドコンセプトがどのようにして生まれたのか、そしてこれからの展開をお話いただきました。以前行われたさまざまなアンケート調査の結果を基にコンセプトが生み出された理由伺い、コンセプト理解を深め、このコンセプトを土台に、YMCAだけの価値を見出し、明確にしていくことが、全国のYMCAに求められ一貫性をもって同じ方向に向いて進んでいくことが大事であるとお話いただきました。

講演を受けて行われたグループセッションでは、コンセプトにある「Value」「Personality」「Vision」の3つグループに分かれて、社会の課題に対してYMCAの可能性や期待することを話し合いました。さまざまな立場の参加者が、「少子化」「高齢化」「教育」など多岐にわたる社会の課題に対して、YMCAとして何ができるのか?そしてわたしのリアクションはなんだろう?を考える時間を持ちました。

閉会礼拝では、榮巖さん(神戸栄光教会伝道師)の導き、家山華子さん(日本基督教団喜音伝道所協力伝道師)のメッセージを受けました。「愛し合うためのキックオフ」と題され、ブランドコンセプトにある「ポジティブネット」=「愛」と捉えて、互いを認め合うこと、互いに愛し合うことは、大きくネットワークを広げ、前向きな社会を作っていく、それがブランディングにこめられている思いであるとメッセージをいただき、参加者がそれぞれに付箋に書いた「わたしのリアクション」を実際にポジティブネットに貼ることで、つながりを感じることができました。



イースター早天礼拝のご案内

日時: 2017年4月16日(日) 午前7時~

場所: 神戸東遊園地

(雨天: 神戸YMCA三宮会館チャペル)

メッセージ: 榮 巖 伝道師(日本基督教団神戸栄光教会)

説教題: 「死を超えて」



YMCA幼稚園の取り組み

YMCAの幼稚園では新年を迎えると、お正月の遊びをきっかけに、「こま回し」「けん玉」「坊主めくり」や「かるた」など、日本古来から親しまれてきた伝承遊びを楽しんでいます。神戸YMCAちとせ幼稚園では、朝登園すると自由に好きな遊びができるコーナー遊びの時間やクラス活動の時間、午後の預かり保育の時間にもこれらの遊びを楽しむことができます。「かるた」遊び一つでも毎回色々な姿がみられます。たくさん札を取れたことを喜ぶ子、なかなか札を取れず悔しくて涙する子、次も頑張るぞ!と張りきる子、お友だちを応援する子…保育者はそんな子どもたちに寄り添いながら、時には一緒に参加したり様子を見守ったりしています。YMCAの幼稚園では、「字を習う」という時間はありますが、遊びを通して文字に触れていく時間を大切にしています。また、かるた遊びを楽しみながら、文字に親しみを覚え、ルールのある遊びを体験し、また友だちとのやりとりから友だちの気持ちや自分の気持ちにも気付いていく(すべて遊びから学んでいます。これは、テレビゲームなど画面上のゲームでは体験できないことです。人と人が触れ合い、互いに心を動かし、コミュニケーションをとる)一これこそ私たちが生きていく上で大切なことだと思います。子どもたちが、様々なことに興味を持ち、自分の力で歩いていく、そのような環境づくりをこれからも大切にしていきたいと思っています。



指定管理施設 紹介

北須磨文化センター

地下鉄名谷駅の北側、水鳥が戯れる落合池や四季によって表情を変える遊歩道、野球やサッカーをしている子どもたちの声が響くグラウンドや芝生広場、緑に囲まれた憩いの場となっているのが落合中央公園です。その公園の一角に地域の人々と共に歩み続けた文化とスポーツの総合施設である神戸市立北須磨文化センターがあります。

北須磨文化センターには年中泳げる温水プール、体育館等の運動施設、4万冊の蔵書がある図書室の他に18もの大中小の会議室や音楽室や美術室などの文化施設があります。

日々、生涯学習の場として多くの方が来館し、自主的な活動に取り組まれています。また、センターでは用途が広い施設の特性を活かし、絵画や音楽・料理・語学等の文化系講座、水泳や体操・ダンス等のスポーツ系講座など120もの講座を開講しています。

私たち神戸YMCAが活かし協働事業体である公益財団法人神戸市スポーツ教育協会、株式会社アシックスと指定管理者として新規に選定され、3年が経ちました。北須磨文化センターは地域の方々のために開かれた施設であり、その使命を全うすべく、私たちスタッフも積極的に地域に出向き、センターのPRに励んでいます。

小学校や大学等の教育機関や北須磨地区の自治会との関係を深め、センターとつながっているお一人おひとりの人生が豊かになることを目指して「Design For Life」を合言葉に日々の運営に尽力していきます。



北須磨文化センター外観

西神戸YMCA 学童保育クラブ



西神戸YMCA学童保育は、神戸市営地下鉄学園都市から徒歩5分の場所にある西神戸YMCA館内にある学童保育所です。近隣小学校4校から子どもたちが集まり毎日元気に過ごしています。

12月にはご家族の皆様を招いてクリスマス会を行いました。学年ごとに練習を重ねたスタントを披露するのですが、クリスマス会への想いはいろいろです。1人ひとりが家族を思う気持ちを持ち、普段の保育から意見を互いに出し合い、内容を考えていきました。

当日は少しでも成長したところを見てほしいと日頃とは違った真剣な姿が表れ、約200名の方々が温かく各学年のスタントを見て下さいました。

何かをもらうだけのクリスマスではなく、喜びを分けあえるクリスマス。自分の大切な人へ幸せを伝える1日でした。

これからも家庭と共に、そして地域や小学校と力を合わせ、子どもたちの歩みの場としての学童保育でありたいと思います。

「子どもの居場所づくり」のとりくみ

神戸YMCA福祉会

神戸YMCA福祉会では、ひとり親家庭や共働き家庭で夜遅くまでひとりで過ごすなどといった子どもたちが、放課後等に食事、学習、団らんなどを通して安心して過ごすことができる「子どもの居場所づくり」事業を実施しています。現在は毎週1回、ボランティアの方に入っていただき学習支援を実施しています。

計算ドリルや漢字ドリル、音読といった学校の宿題や、習い事の宿題をその場で行っています。また、こちらが用意しているプリント教材に取り組んでいる子どももいます。ボランティアの方にじっくりと「自分のために」教えてくれているということ、教えてもらったらわかるということを実感することによって学習意欲が向上したり、少人数で実施することによって学校や学年を越えたつながりが生まれたりしているように感じます。

子どもたちは“できる”楽しさや“できた”喜びを感じている段階ですが、今後は自らが計画し、そしてそのことを振り返られる習慣が付き、自立できるようなアプローチを行っていきたくと考えています。

感謝・寄付・新会館建築募金

感謝をもってご報告します。(敬称略、順不同)

「余島において実施するキャンプ事業等」に対する募金

故小林宣子

新会館建築募金

(前号掲載以降～1/31現在)

神戸YMCAベルクワイアー、Ding Dong Ringers、Ringling Angels、
 芦屋ワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ、株式会社サンビルダー、
 日本基督教団神戸教会、阿部信太郎、安福芳之、為広かね子、井上真二、
 宇野由美子、奥矢勝、横山由利亜、家山華子、岩井義矢、吉田明、権藤みか、
 原伸行、後田富久子、黒田恭子、今西時子、細見明子、坂本滋、三上展、
 山本常雄、山本洋子、若林成幸、宗行孝之介、小山哲夫、小野勅紘、松田道子、
 松本文代、神川憲武、石田英子、赤瀬けい子、大谷節子、大田厚三郎・忠子、
 竹林直樹、田村光、藤原孝章、藤本新作、尾上尚司、榊田二郎、万本敬一、
 野田彩未、林英伸、林伸吉、廣瀬献児、濱浩一、匿名の方3名

「ブランディング」への取り組み No.4

2017年1月28日～29日、全国YMCAチャイルドケア担当者会アフタースクール部会が開催されました。これは全国で広がりを見せる「学童保育」に関わるスタッフが集まり、事例の共有などを通して学びを深め、YMCAの行う学童保育の質を高めようとするもので、「ブランディング」についても全国の仲間と共に考える機会を持ちました。

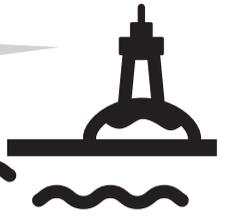
YMCAの学童保育は
したい何かが見つかり、誰かとつながる。私がよくなる、かけがえのない場所。を提供し互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。
ことを目標とする心をひらき、わかちあう。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。ブランドです。



このブランドコンセプトは学童保育だけでなく、「YMCAで行われる全てのプログラムにおいて提供することを約束する価値」を表現しています。この大切な価値を提供するために、私たちがどうあるべきか？何をしなければならないか？を考える大切な時間を過ごすことができました。学童保育に集う子どもたちへ、より良いプログラムを提供するために、このブランドコンセプトを掲げ共に歩んでいくことを、全国の仲間と約束しました。YMCAに関わる一人ひとりの「ブランディング」への取り組みが、それぞれのストーリーを生み出し、広がりが加速していくことを願っています。

灯台 No.10

Light House



総主事 井上 真二

「生きる」ということ

今から20年以上前、ハンセン病療養所に在院する男性を訪問する機会がありました。現在は総合病院、ホスピスとなっているその施設は1886年パリ外国宣教会の神父が宣教中、水車小屋に隔離されていたハンセン病患者と出会い、救済を開始したことが始まりとされています。その方は、生まれてから存在を否定される境遇にあったこと、他人のためになったことがないことや、絶望のなかでキリスト教と出会い、聖書の言葉が自分の人生の救いをもたらす励みとなり、生きるための道の光り、歩みを照らす灯であったことをお話してくださいました。

聖書にも重い皮膚病という記述があるように、ハンセン病は有史以来、天刑、業病、呪いとされてきました。病状が進み顔面、手足などに皮疹および末梢神経障害などを形成するため、外見上の問題と手足の不自由による就労の困難などから、近隣住民から差別され、疎外されました。感染力が極めて弱い病気にもかかわらず、人里離れた療養所に収容し、「終身隔離、患者撲滅政策」を行った歴史があります。1943年有効な治療薬が出ていたにもかかわらず、その法律が撤廃、隔離政策が廃止されたのは1996年、ほんの20年前のことです。想像を絶する過酷な状況に追い込まれた時、人は何を支えとするのでしょうか。

昨年、その療養所の記念館が復原され、病院の歴史年表、記念館リーフレット、ポストカードをいただきました。そのカードに添えられている心の言葉を紹介します。

「復活に賭けし病む日々 花は実に」
「今年の落ち葉の上に座りをり ただそれだけで心たのしく」



あかし こども広場 オープン!!



親子交流スペース



明石市から委託を受け、「あかしこども広場」を管理・運営することになりました。

あかしこども広場は、子どもの健やかな育ちを総合的に支援するとともに、子どもを中心とした多様な交流を創出し、子どもの健全な居場所を提供することにより、次世代を担う子どもの育成と子育て支援の推進を図るため、明石市が設置した施設です。



この施設の中には、屋内大型遊具がズラリとそろう子どもたちが思い切り体を使って遊べる親子交流スペース、乳幼児の一時的な預かり保育を行う一時保育、中・高校生世代の自主的な活動をサポートする中高生世代交流施設、工作や料理を楽しむ工作・キッチンルームなどがあり、これらをYMCAが管理・運営します。

一時保育は1月27日に先行オープンしており、その他の施設は4月20日にグランドオープンの予定です。

この施設に集う人々の精神と心と身体が喜び、そのいのちの光がこの施設に満ちあふれ、ここから地域に光を放っていくことができるように進んでいきます。

あかしこども広場は明石駅南側、再開発ビル(パピオス明石)5階にあり、窓からながめる風景が良く、広々としたフロアです。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



ファミリーウエルネスセンター ☎078(241)7202
 YMCAホームヘルパーの事務所 ☎078(241)7237
 ランゲージセンター ☎078(241)7204
 専門学校 ☎078(241)7203
 西宮YMCA ☎0798(35)5987
 三田YMCA ☎079(559)0075
 余島野外活動センター ☎0879(62)2241
 デイキャンプ&コミュニティーサービス(兼キャンプ事務局) ☎078(241)7216
 国際奉仕センター ☎078(241)7204
 ウエルネスセンター学園都市 ☎078(793)7401
 西神戸YMCA ☎078(793)7402



Information

YMCAおひさま ☎078(793)9077
 西神南YMCA ☎078(993)1560
 須磨YMCA ☎078(734)0183
 YMCA保育園 ☎078(794)3901
 西宮YMCA保育園 ☎0798(35)5992
 西神戸YMCA保育園 ☎078(792)1011
 神戸学園都市YMCAこども園 ☎078(791)2955
 YMCAちとせ幼稚園 ☎078(732)3542
 ちとせ保育ルーム ☎078(732)3542
 西神戸YMCA幼稚園 ☎078(997)7705
 西宮つとがわYMCA保育園 ☎0798(26)1016

卒業リーダー感謝

今年も学生時代の貴重な時間と力をささげ、YMCA活動の担い手になってくださったボランティアリーダーの皆さんが巣立っていきます。リーダーのご奉仕に心から感謝すると共に、奉仕活動を通して彼らが得たものがこれからの糧になることを願っています。

氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
明石 伎奈	西宮	和田 佳奈子	西神戸	中野 知世	三宮	染矢 皐	余島
飯田 亮	西宮	小山 早智	西神戸	藤原 悠香	三宮	竹部 寿々代	余島
大西 美輝	西宮	青井 絵美	西神戸	本川 真優子	三宮	中村 由花	余島
倉本 幸治	西宮	菅野 由香里	西神戸	船越 寛子	三宮	難波 花観	余島
宰川 祐花	西宮	前田 美咲	三宮	村上 裕紀	三宮	西村 耀	余島
竹内 愛実	西宮	吉田 磨柚	三宮	笹木 翔平	余島	藤田 優子	余島
長谷川 万莉	西宮	石橋 朋佳	三宮	寺西 敏彦	余島	松本 瑞黎	余島
宮脇 知紘	西宮	横道 千紗都	三宮	長谷川 弘樹	余島	大智 優一	余島
河野 由夏	西神戸	松坂 ゆかり	三宮	味口 純	余島	田端 遼太	ファミリーウエルネス
松尾 有希子	西神戸	家田 夏海	三宮	大谷 理歩	余島	柚木 茉莉杏	ファミリーウエルネス
前原 佳奈	西神戸	坊 果奈実	三宮	川阪 乃愛	余島	今西 駿都	ファミリーウエルネス
砂町 麻友	西神戸	千藤 沙友里	三宮	熊谷 真実	余島	洲濱 友紀	ファミリーウエルネス

ファミリーウエルネスセンターニュース

ファミリーウエルネスセンターには、神戸市の指定事業で児童発達支援「神戸YMCAタンポポくらぶ」があります。先日節分の日に豆まきを行いました。

鬼がお部屋に来ると、パッと部屋の隅に逃げていたり、泣いてリーダーのところへ来たり、すぐに豆を手に取り投げようとしている子ども...数日前から「鬼が来たらどうする?」という話をしていたのですが、やっぱり怖い。怖いと思うことも大切な感情、経験です。

自分で作った鬼のお面をつけ、「鬼は外〜!!」と、豆を投げました。鬼が降参し、部屋を出て行くときに、仲良しの握手をしてバイバイしました。



信州志賀高原スキーキャンプ

長野県横手山スキー場で信州志賀高原スキーキャンプを実施しました。この時期には珍しい雨そして吹雪と難しい天気が続きましたが、最終日には透き通るような青空となりました。雲ひとつない空に囲まれ、2307mの山頂から見える景色は息をのむほど美しいものでした。自然の素晴らしさ、仲間の大切さを感じたキャンプとなりました。



神戸市民クリスマス

2016年12月16日の夕刻にカトリック神戸中央教会を会場に第58回神戸市民クリスマスが行われました。約300名の方々が集いシンフォニア・エキシユメニカを基に聖書朗読が中心の讚美礼拝がもたれました。



「模擬ウェディング」がおこなわれました

専門学校「ホテル学科」



2016年12月にホテル学科2年生の卒業制作「模擬ウェディング」が、グリーンヒルホテル神戸にて行われました。今年は、学生のご両親のリアル結婚式! 新郎新婦と一緒に企画からお式まで綿密に打ち合わせをして作り上げていきました。ご親族も招待する結婚式は、もはや「模擬」ではなく「ホンモノ」の結婚式です。学生たちも失敗は許されないと緊張の面持ちで挑みました。アテンド、司会、受付など、すべて学生が担い、執り行われた、感動の結婚式でした。

第20回 中・西日本YMCAユースバスケットボール大会



1月28日(土)~29日(日)に兵庫県立総合体育館にて第20回 中・西日本YMCAユースバスケットボール大会が行われました。中日本地域のYMCAからメンバーとリーダー総勢290人が参加し、多くの仲間と大会を通して交流や絆を深めることができました。Aランク 西宮 二連覇、Bランク 西神戸 優勝、Dランク 三宮 優勝という成績をはじめ、メンバー全員が日頃の取り組みの成果を発揮することができた大会となりました。